



せん妄とは

(患者様・ご家族用)

❖ せん妄とは

せん妄は、脱水、感染、貧血、薬物など、からだに何らかの負担がかかったときに生ずる脳の機能の乱れであり、おもに次のような変化や特徴がみられます。

せん妄のときは、こんな変化や特徴があります

- ✔ 意識がくもってぼんやりとしている
- ✔ もうろうとして話のつじつまが合わない
- ✔ 朝と夜をまちがえる、病院と家をまちがえる、家族のことがわからない
- ✔ 治療していることを忘れて、点滴などのチューブ類を抜いてしまう
- ✔ 怒りっぽくなり、興奮する
- ✔ 見えないものを見えると言ったり（幻視）、ありえないことを言う（妄想）
- ✔ 夜になかなか眠れず、日中に寝てしまう。
- ✔ 症状は急に生じることが多く、夜になると症状が激しくなる

せん妄は、一般の総合病院に入院している患者さんの 20～30%にみられる症状であり、病状が進んだ時や看取り（みとり）の時期でその割合はさらに上昇するといわれています。当院では全身状態の悪い場合では入院時から既にせん妄となっていってしまう方もいますし、手術や抗がん剤治療後などにも認められる場合があるようです。

せん妄になりやすい方は

- 高齢の方
- お酒の量が多い方
- 認知症あるいは普段から物忘れのある方
- 視力が低下している方や難聴がある方
- 以前にせん妄になったことがある方

せん妄は、体の症状のひとつであり、「気持ちの持ちよう」や「こころの問題」ではありません。ぼけてしまったとか、精神病になったわけでもありません。適切な治療を行えば、半数以上の患者さんで症状が改善するといわれています。

❖ せん妄がもたらすもの

- 危険な行動の原因となる（知らないあいだに点滴やチューブを抜いてしまう、ベッドから落ちてしまうなど）。
- 患者さん自身がつらさを感じる（頭が混乱して眠れない、不安になるなど）。
- 治療がスムーズにすすまない、場合によっては中止の可能性もある（意識がくもった状態で意志がはっきりしない、治療のために安静をたもてないなどのため）。



❖ せん妄の治療

せん妄は、からだへの負担を原因とする脳の機能の乱れであるため、負担となったからだの問題をとりのぞくことが治療の基本となります。これに、

- ・ 脳の機能の乱れを改善するお薬
- ・ 患者さんが安心できるような環境の調整

をあわせていきます。

● お薬について

数多くのデータから、うつ病や認知症、統合失調症の患者さんに対して認知機能を回復するように働くお薬が脳の機能の乱れの改善には有効とされており、当院でも、まずはじめに使います。

- 効き方には個人差がありますので、お薬は少量から用います。
- 日中にも眠くなったり、ものが飲み込みにくくなったりすることがあります。そのような場合は、すぐにお薬の量を減らす、他のお薬に変更するなどの対応をいたします。

❖ ご家族のみなさまへ

患者さんの意識が混乱している時は、ご家族がそばにいてだけで患者さんは安心されます。

- つじつまの合わないお話があっても、無理にただす必要はありません。
- いつもどおりのおちついた言葉かけをお願いいたします。
- 症状が強くなる夜間は、ご家族につきそいをお願いすることもあります。

患者さんのためにぜひご協力をお願いいたします。

❖ 分からないこと、お困りのことがありましたら、遠慮なく

病棟看護師や主治医にご相談ください❖